

日本漢字学会

設立総会

記念シンポジウム

3 / 29 木
2018

京都大学
百周年時計台記念館
百周年記念ホール

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 正門すぐ

入場無料 定員300名

一般の方々の聴講も歓迎します。

第1部 設立総会 13:00~13:45 (12:30より受付開始)

学会設立趣旨説明(審議事項) 1. 会則案の承認

2. 役員案の承認

3. 2018年度の事業計画・予算案の承認

(その他) 入会手続き案内・質疑応答ほか

第2部 記念シンポジウム 14:00~16:00 | 第2部から参加希望の方は 14:00までにお越しください

「漢字学の未来を考える」

「漢字学」は今後どの方向に進むべきか、またそこにはどのような課題が残されているか。漢字文化の広がり、その過去・現在・未来について、各分野を代表する研究者たちが、ディスカッションを通じて共通の課題を探ります。

パネリスト

阿辻 哲次(公益財団法人日本漢字能力検定協会漢字文化研究所所長 / 専門 中国語学)

池田 証壽(北海道大学大学院文学研究科教授 / 専門 国語学)

小倉 紀蔵(京都大学大学院人間・環境学研究科教授 / 専門 韓国・朝鮮哲学)

笹原 宏之(早稲田大学社会科学総合学院教授 / 専門 国語学)

清水 政明(大阪大学大学院言語文化研究科教授 / 専門 ベトナム語学)

山本 真吾(白百合女子大学文学部国語国文学科教授 / 専門 国語学)

入会受付 / 当日入会申し込みを受け付けます。(16:00~17:00)

懇親会(17:00~18:30) 京都大学カフェレストラン カンフォーラ 会費:3,000円(当日徴収)

参加申し込み方法

「漢字cafe」www.kanjicafe.jp にリンクの記事から、

または、下記のフォームより直接お申し込みください。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_93/index.do



問い合わせ先 / 漢検 漢字博物館・図書館 漢字文化研究所内 日本漢字学会設立準備事務局

〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地 TEL. 075-757-8686 / FAX. 075-531-0340 / E-mail jsecc@kanken.or.jp

「漢字学の未来を考える」

日本漢字学会 設立趣意書

第二次世界大戦後、日本に進駐した連合国軍は、漢字を大量に使って日本語を書くことは近代化のさまたげになると考え、すみやかに漢字を廃止して、ローマ字で日本語を表記するよう提案した。それをうけた政府が制定した「当用漢字表」は、漢字制限を目的とし、最終的には漢字の全面的廃止を視野に入れるものであった。しかし戦後の混乱から立ち直り、急速に経済復興をとげるにつれて、社会全体において漢字の重要性が再認識され、「当用漢字表」の後継規格として作られた「常用漢字表」は漢字制限規格ではなく、漢字使用の目安として示された。

漢字の形と読み方と意味を覚え使いこなすためには、長年にわたる反復学習が必要である。それは表音文字の修得とは比較にならない労力を必要とするが、それにもかかわらず、日本人はついに漢字を放棄しなかった。いったいなぜなのだろうか。それは、いつの時代においても漢字が私たちの生活と文化に深く根ざしていたからにほかならない。

漢字は古くから記紀・万葉・仏典・漢詩などの表記に用いられ、また文明開化

期では、多くの漢字語を創造して大量の文献を翻訳し、近代西洋文明を導入した。現代においては情報産業の発達により、もともと機械処理は不可能とされていた漢字がパソコンなどで簡単にデータ処理できるようになった。また学校教育の充実によって識字能力がほぼ100%に近い日本では、多くの人が漢字をさわめて身近なものと感じている。

このように歴史的にも現代的にも私たちの生活と密接不可分の関係にある漢字に真正面から向き合い、漢字が内包するすぐれた価値を明確にし、それを社会に反映させていくことの意義は、まことに大きいと考える。

研究の方向は、それぞれの漢字の形・音・義に関することはもちろん、漢字にかかわる文献研究や出版、書道やデザインなどの芸術活動、あるいは漢字教育や漢字政策、さらには漢字をめぐるIT技術など、きわめて多岐に及ぶべきである。

広範な分野における漢字の総合的な研究を通じて、わが国におけるよりよい漢字文化の発展に貢献するため、ここに「日本漢字学会」を設立しようとするものである。

2017年10月29日

発起人一同

研究対象

- (1) 漢字そのもの(発生、変遷、音訓、字体、機能等)
- (2) 漢字を用いた文化(表記、語彙、文献、書道、出版等)
- (3) 漢字を処理する文化(活字、漢字タイプ、漢字変換、文字認識等)
- (4) 漢字を管理・制御する文化(漢字教育、漢字政策等)
- (5) 漢字を扱う国家や社会(漢字文化圏、比較文字学等)

発起人

阿辻 哲次	京都大学名誉教授、(公財)日本漢字能力検定協会漢字文化研究所所長
池田 証壽	北海道大学大学院文学研究科教授
池田 巧	京都大学人文科学研究所教授
乾 善彦	関西大学文学部教授
氏原 基余司	江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授
円満字 二郎	編集者
大形 徹	大阪府立大学人間社会システム科学研究科教授
大槻 信	京都大学大学院文学研究科教授
大西 克也	東京大学大学院人文社会系研究科教授
小倉 紀蔵	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
小原 俊樹	福岡教育大学名誉教授
木田 章義	京都大学名誉教授
木津 祐子	京都大学大学院文学研究科教授
久保 裕之	立命館大学専任職員(白川静記念東洋文字文化研究所文化事業担当)
高坂 節三	(公財)日本漢字能力検定協会代表理事

笹原 宏之	早稲田大学社会科学総合学院教授
佐竹 秀雄	(公財)日本漢字能力検定協会現代語研究室室長
佐野 宏	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授
清水 政明	大阪大学大学院言語文化研究科教授
高田 智和	国立国語研究所理論・構造研究系准教授
田中 郁也	(公財)日本漢字能力検定協会漢字文化研究所研究員
棚橋 尚子	奈良教育大学教育学部教授
牧野 元紀	(公財)東洋文庫主幹研究員
松江 崇	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授
森 博達	京都産業大学外国語学部教授
森賀 一恵	富山大学人文学部教授
安岡 孝一	京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター教授
山崎 信夫	(公財)日本漢字能力検定協会理事
山本 真吾	白百合女子大学文学部国語国文学科教授
吉川 雅之	東京大学大学院総合文化研究科准教授

入会資格

特に定めなし。「日本漢字学会」は、漢字及び関連諸領域の研究を通じ、日本における漢字文化の発展に貢献することを目的とするため、開かれた学会として、研究者のみならず、一般の方々の入会も歓迎します。

設立総会・記念シンポジウムに参加できない方で、入会をご希望の場合には、2018年4月1日以降に漢字ミュージアムホームページ(<http://www.kanjimuseum.kyoto/>)にリンクされる日本漢字学会ホームページ(作成中)をご覧ください。